

## 『明海大学言語文化研究』 投稿規程

1. 本誌は明海大学複言語・複文化教育センターの機関誌として年1回発行する。応募者は原則として明海大学複言語・複文化教育センターの教員(専任、非常勤を含む)とする。なお複数名の共著の場合、少なくとも1名が本センターの教員でなければならない。但し、明海大学複言語・複文化教育センター紀要編集委員会(以下、編集委員会)で認めた場合はこの限りではない。
2. 投稿原稿は未公刊のものに限り、応募の時点で他に公刊される見込みのものであってならない。また、他誌との二重投稿は認めない。ただし、既に口頭で発表したものに相応の修正・発展を加えたものは、その旨を明記している場合に審査の対象となりうる。
3. 投稿の締切は、要旨(=表紙のみ)を7月15日(必着)、完全原稿(=表紙及び論文)を10月31日(必着)とする。採否決定は1月下旬までに行い、発刊は3月31日とする。
4. 投稿の部門は学術論文、研究ノート、書評、書評論文の4部門とし、日本語、英語、または中国語で書かれたものとする。論文の審査が終わるまで同一部門への重複投稿は認めない。
5. 投稿原稿はMS WordでA4用紙に作成し、ページ設定は、WORDで1ページ34文字×32行、マージンを天地左右25mmとする。字体は、本文、注、参考文献のいずれにおいても、和文をMS明朝、英文をCenturyとし、ポイントは12ポイントを使用すること。
6. 投稿原稿の長さは、論文・書評論文は20ページ以内、研究ノート・書評は10ページ以内とする。なお、要旨・図表・注・参照文献もこのページ制限内に収めること。
7. 原稿には編集委員長が指定する表紙を別に付ける。本文冒頭には題目のみを記し、筆者名は記さない。別に付ける表紙には、投稿部門(論文、研究ノート、書評、書評論文)の別、論文題目、氏名、所属、住所、電子メールアドレス及び要旨(日本語・中国語で400字以内、英語で200語以内)を記す。また、謝辞がある場合は、これも表紙に書くこととし、注の冒頭には組み込まない。
8. 太字(ゴシック体)や斜体(イタリック体)など、書式上特に希望がある場合には原稿に指定する。細部の書式については、別に定める「投稿論文の書式」(内規)に従うこと。なお、本投稿規程及び「投稿論文の書式」に沿わない原稿は、編集委員会において不採用にすることができる。
9. 原稿の採否については、編集委員会が審査して決定する。採用予定の原稿でも不備の箇所などの書き直しを編集委員会が指示することがある。投稿された原稿は採否の如何にかかわらず返却されないので、各自で控えを保管しておくこと。
10. 校正は原則として再校までとし、執筆者が行う。校正時に変更が認められるのは植字上の、あるいは事実関係についての明らかな誤りのみに限る。事実関係の誤りを訂正する場合には、編集委員会の承認を要す。内容に関する訂正加除は原則認めない。
11. 投稿原稿は、内容が同一のMS WordおよびPDFの2ファイルを電子メールに添付して編集委員長の大学アドレス宛に送付すること。なお、件名を「『明海大学言語文化研究』第○号投稿原稿(○○○○)」とすること。括弧内の○○○○は氏名とする。
12. 本誌掲載の各論文はPDF版を明海大学レポジトリーに掲載することによって公開する。